

NACS 静岡分科会と意見交換・交流会開催  
～被災地亙理工業団地仮設、仙台荒浜海岸、閑上海岸視察～

NACS 東北支部

我が NACS 東北支部と、中部支部静岡分科会との交流会が11月16日～17日の2日間仙台で行われました。静岡地方は、今後「南海トラフ巨大地震」の発生が心配されており、東日本大震災の被災者のみなさんの厳しく大変な体験を通し、防災の意識と命の尊さを高めていこうとのことでした。

今回の交流会は、6月の東京での総会で支部長に依頼があり実現したものです。

【1日目は】ハーネル仙台で、東北支部会員と「災害時の体験談」、「災害から命を守るべき優先順位」、「手段」、などについて真剣に語り合い、白熱した議論で時間超過となった程です。



【2日目は】亙理の仮設住宅集会所で被災された4名のみなさんとの意見交換会です。

3,11 その時、どのような行動をとり、どのように命をつなげたのか。また、助かった命をこれからどうやって皆さんに恩返ししていくのか、など生きていくことの根源

について語ってくれました。また2年以上住んでいる仮設住宅は、夏は蒸し暑い状態、冬は結露等、いろいろなことに悩まされながら過ごしているとのことでした。

その日の午後は仙台駅から「語り部タクシー」を利用、運転手さんからのリアルな災害時のお話を聞き、荒浜海岸の慰霊碑に献花をしました。土台だけを残し荒れ果て荒涼とした風景に誰もが言葉を失い涙しました。

貴重な2日間はあっという間に過ぎました。今回の交流会が静岡の皆さんの防災に役立つことを願うばかりです。

以上